

# 予稿の訂正

p.1117 左段、1はじめに、第2段落、3文目

「エンコーダ及びデコーダを互いに交換する2つのスワップモデルを提案し」

[Chen+, 2018]において提案されたhybrid modelの一種であり、本研究で提案したものではない。

p.1118 右段、4実験、実験設定、2文目

「ASPECは1,783,817文対の学習データ（中略）からなる。」

ASPECの学習データは3,008,500文対である。

英語のデータにMosesのスクリプトを用いたトークン化及びTruecasingを行い、日本語のデータはKyTeaを用いてトークン化を行い、最後に、学習データの対訳文のペアについて、どちらかの言語において文長50を超えるものを除外した結果の学習データが1,783,817文対である。

なお、このデータに対してサブワード化処理を行った上で、先頭1,500,000文に文長50を超える文の除外の結果の1,314,495文対を最終的な学習データとして用いた。